

Title	添谷芳秀教授略歴；主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2021
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.94, No.2 (2021. 2) ,p.449- 463
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	添谷芳秀教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20210228-0449

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

添谷芳秀教授略歴

学歴

- 一九七五年 四月 上智大学外国語学部英語学科入学
- 一九七九年 三月 同大学同学部同学科卒業
- 一九七九年 四月 上智大学大学院外国語学研究科国際関係論専攻博士前期課程入学
- 一九八一年 三月 同大学院博士前期課程修了
- 一九八一年 九月 ミシガン大学大学院政治学専攻博士課程入学
- 一九八三年十二月 同大学院博士候補生
- 一九八七年 四月 同大学院博士課程修了

学士号・学位

- 文学士（上智大学）一九七九年三月授与
- 国際学修士（上智大学）一九八一年三月授与
- 政治学博士／Ph.D.（ミシガン大学）一九八七年五月授与

職歴

一九八四年一〇月—一九八六年九月	上智大学国際関係研究所助手
一九八七年 四月—一九八八年三月	財団法人・平和安全保障研究所研究員
一九八八年 四月—一九九一年三月	慶應義塾大学法学部専任講師
一九九一年 四月—一九九五年三月	同大学同学部助教授
一九九五年 四月—二〇〇二年三月	同大学同学部教授
一九九三年 九月—一九九五年八月	米国東西センター訪問研究員(国際交流基金日米センター安倍フェロー)
二〇〇六年 九月—二〇〇七年二月	ソウル国立大学国際大学院客員教授
二〇〇七年一〇月—二〇一三年九月	慶應義塾大学東アジア研究所所長
二〇一一年 四月—二〇一六年三月	同現代韓国研究センター長
二〇一三年 八月—二〇一四年一月	米国ウイルソンセンター・ジャパンスカラ
二〇一四年 三月—五月	韓国国際交流財団フェロー

所属学会 (前歴を含む)

日本国際政治学会理事・評議員、アジア政経学会評議員、日本政治学会、日本平和学会、アジア学会(米国、AAS)、国際政治学会(米国、ISA)、国際戦略問題研究所(英国、IIS)

学外兼務など

- 米国アジア財団国際評議員（一九九六年―現在）
- 「二世紀日本の構想懇談会」メンバー（官邸、一九九九年―二〇〇〇年）
- 防衛施設中央審議会委員（防衛庁、二〇〇〇―二〇〇九年）
- 経済産業研究所ファカルティーフェロー（二〇〇一年七月―二〇〇四年三月）
- 経産省産業構造審議会地球環境小委員会委員（経産省、二〇〇三年）
- 外務省政策評価アドヴァイザリーグループ・メンバー（外務省、二〇〇三年―二〇一三年）
- 国際交流基金日米センター安倍フェローシッププログラム委員会委員・座長（二〇〇四年―二〇〇八年）
- 国際文化会館評議員（二〇〇四年―現在）
- 「日韓新時代共同研究プロジェクト」第一分科会委員長（外務省、二〇〇九年―二〇一一年）
- 「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」委員（官邸、二〇一〇年）
- 「第二期日韓新時代共同研究プロジェクト」委員（外務省、二〇一一年―二〇二二年）

添谷芳秀教授主要業績

単著

- 『入門講義 戦後日本外交史』（慶應義塾大学出版会、二〇一九年）
- 『日本の外交―「戦後」を読みとく』（ちくま学芸文庫、二〇一七年）
- 『安全保障を問いなおす―「九条・安保体制」を越えて』（NHKブックス、二〇一六年）
- 『米中の狭間を生きる 韓国知識人との対話Ⅱ』（慶應義塾大学出版会、二〇一五年）
- 『日本の「中等国家」 外交―战后日本的选择和构想』（北京・社会科学文献出版社、二〇一五年）（翻訳）
- 『일본의 미들 파워 외교』（서울: 오름, 2006년）（翻訳）
- 『日本の「ミドルパワー」 外交―戦後日本の選択と構想』（ちくま新書、二〇〇五年）
- Japan's Economic Diplomacy with China, 1945-1978* (Oxford: Clarendon Press, 1998)
- 『日本外交と中国 1945～1972』（慶應通信、一九九五年）
- Japan's Economic Diplomacy with China: Three Decades of Non-governmental Experiences*, Ph.D. Dissertation, The University of Michigan (1987)

共著

- Ryosei Kokubun, Yoshihide Soeya, Akio Takahara and Shin Kawashima, *Japan-China Relations in the Modern Era* (London: Routledge, 2017) [Translated by Keith Krulak]
- Yoshihide Soeya, Yul Sohn and Daniel Sneider, *U.S.-ROK-Japan Trilateralism: Building Bridges and Strengthening Cooperation* (NBR Special Report #59, July 2016)
- 国分良成、添谷芳秀、高原明生、川島真『戦後日中関係史』(有斐閣、二〇一三年)
- L. Williams Heinrich, Jr., Akhio Shibata and Yoshihide Soeya, *United Nations Peace-Keeping Operations: A Guide to Japanese Policies* (Tokyo: United Nations University Press, 1999)
- 薬師寺泰蔵、吉野直行、田中俊郎、添谷芳秀、田村次朗『成熟時代の日米論争』(慶應義塾大学出版会、一九九六年)
- 編著・共編著・編集
- 添谷芳秀編著『秩序変動と日本外交―拡大と収縮の七〇年』(慶應義塾大学出版会、二〇一六年)
- Rizal Sukma and Yoshihide Soeya, eds., *Navigating Change: ASEAN-Japan Strategic Partnership in East Asia and in Global Governance* (Tokyo & New York: Japan Center for International Exchange, 2015)
- 添谷芳秀、田所昌幸、デイヴィッド・ウェルチ編著『普通』の国 日本』(千倉書房、二〇一四年)
- Rizal Sukma and Yoshihide Soeya, eds., *Beyond 2015: ASEAN-Japan Strategic Partnership for Democracy, Peace, and Prosperity in Southeast Asia* (Tokyo & New York: Japan Center for International Exchange, 2013)
- 添谷芳秀編著『現代中国外交の六十年―変化と持続』(慶應義塾大学出版会、二〇一一年)
- Yoshihide Soeya, Masayuki Tadokoro and David A. Welch, eds., *Japan as a 'Normal Country'? : A Country in*

Search of its Place in the World (Toronto: University of Toronto Press, 2011)

洪沢雅英、山本正、添谷芳秀編『日本の世界貢献とシヴィル・ソサエティ』(慶應義塾大学出版会、二〇〇八年)

添谷芳秀、田所昌幸編著『日本の東アジア構想』(慶應義塾大学出版会、二〇〇四年)

石井明、朱建栄、添谷芳秀、林曙光編『記録と考証 日中国交正常化・日中平和友好条約締結交渉』(岩波書店、二〇〇三年)

添谷芳秀、山本信人編著『世紀末からの東南アジア』(慶應義塾大学出版会、二〇〇〇年)

添谷芳秀編『二一世紀国際政治の展望』(慶應義塾大学出版会、一九九九年)

添谷芳秀、赤木完爾編著『冷戦後の国際政治―実証、政策、理論』(慶應義塾大学出版会、一九九八年)

翻訳

緒方貞子『戦後日中・米中関係』(東京大学出版会、一九九二年)

論文

「日本から見た戦後日中関係―敗戦から天皇訪中まで (一九四五―一九二二年)」波多野澄雄、中村元哉編著『日中の「戦後」とは何であったか―戦後処理、友好と離反、歴史の記憶』(中央公論新社、二〇二〇年)

“Japan’s Indo-Pacific Diplomacy and Europe,” in Rabea Brauer, et al., eds., *Japan-EU Relationship: Recommendation on SPA* (Tokyo: Konrad-Adenauer-Stiftung Japan, 2020)

“Middle Power Cooperation in the Indo-Pacific Era,” *Issues & Studies*, Vol. 56, No. 2 (June 2020)

「日本のインド太平洋外交と近隣外交」『国際問題』第六八八号(二〇二〇年一月・二月)

- “How Ideological Differences Drove a Downward Spiral.” *Global Asia*, Vol. 14, No. 3 (September 2019)
- “The Rise of China in Asia: Japan at the Nexus,” in Asle Toje, ed., *Will China's Rise be Peaceful?: Security, Stability, and Legitimacy* (Oxford: Oxford University Press, 2018)
- “The Case for an Alternative Strategy for Japan: Beyond the Article 9-Alliance Regime,” in Michael J. Green and Zack Cooper, eds., *Postwar Japan: Growth, Security and Uncertainty since 1945* (Washington D.C.: Center for Strategic and International Studies, 2017)
- 「冷戦後の日本外交—なぜ歴史問題が収まらないのか」慶應義塾大学東アジア研究所編『アジア・アフリカ研究—現在と過去の対話』（慶應義塾大学出版会、二〇一五年）
- “The Evolution of Japan's Public Diplomacy: Haunted by its Past History.” Jan Melissen and Yul Sohn, eds., *Understanding Public Diplomacy in East Asia: Middle Powers in a Troubled Region* (London: Palgrave Macmillan, 2015)
- 「普通の「ミドルパワー」へ—冷戦後の日本の安全保障政策」添谷芳秀、田所昌幸、デイヴィッド・ウェルチ共編著『普通の「普通」の国 日本』（千倉書房、二〇一四年）
- “The Middle-Power Challenge in East Asia: An Opportunity for Co-operation Between South Korea and Japan.” *Global Asia*, Vol. 9, No. 2 (Summer 2014) [co-authored with Geun Lee]
- 「冷戦後日本外交の変調と『ミドルパワー』としての選択」波多野澄雄他編『日本の外交 第六卷 日本外交の再構築』（岩波書店、二〇一三年）
- 「インドシナをめぐる『シオ・エコノミックス』—ミャンマーを軸に米中印が交錯」『外交』Vol. 20（二〇一三年七月）
- 「中国の台頭と日韓協力—認識の束縛を超えて」小此木政夫、河英善編『日韓新時代と共生複合ネットワーク』（慶應義塾大学出版会、二〇一二年）

- 「座談会 国際情勢の動向と日本外交」『国際問題』第五九八号 (二〇一一年一月)
- * A 'Normal' Middle Power: Interpreting Changes in Japanese Security Policy in the 1990s and After." in Yoshihide Soeya, Masayuki Tadokoro and David A. Welch, eds, *Japan as a 'Normal Country'? A Country in Search of its Place in the World* (Toronto: University of Toronto Press, 2011)
- *Tokyo's China Problem: Claiming the High Ground." *Japan Echo Web*, No. 4 (December 2010-January 2011) <http://www.japanechoweb.jp/diplomacy-politics/jew0408>
- 「EAS の位置づけおよびその関係国の動向」東アジア共同体評議会編集『東アジア共同体白書二〇一〇』(たちばな出版、二〇一〇年)
- 「『逆転』後の日中」『外交』Vol. 2 (二〇一〇年一〇月)
- 「『普通の国』論再考」冷戦後日本の外交と政治『法学研究』第八三巻第三号 (二〇一〇年三月)
- 「日本外交の展開と課題—中国との関係を中心に」『国際問題』第五八八号 (二〇一〇年一月)
- 「戦後日本外交史—自立をめぐる葛藤」日本国際政治学会編『日本の国際政治学・四歴史の中の国際政治』(有斐閣、二〇〇九年)
- *"Japanese Domestic Politics and Security Cooperation in Northeast Asia" (Washington, D.C.: Council on Foreign Relations, December 2009)
- 「危機の中の日米関係 一九七〇年代」五百旗頭真編『日米関係史』(有斐閣、二〇〇八年)
- 「日本外交を構想する—ミドルパワー連携による秩序のインフラ作りを」『論座』(二〇〇八年二月)
- 「吉田路線と吉田ドクトリン」『国際政治』(吉田路線の再検証) 第一五一号 (二〇〇八年三月)
- *"Diplomacy for Japan as a Middle Power." *Japan Echo*, Vol. 35, No. 2 (April 2008)
- 「朝鮮半島をめぐる国際政治」宇野重昭他編『日本・中国からみた朝鮮半島問題』(国際書院、二〇〇七年)
- 「アジア外交の再編—官邸外交を機能させるために」『国際問題』第五五八号 (二〇〇七年一月)

- “Trilateralism and Northeast Asia.” in William Tow, et al., eds., *Asia-Pacific Security: US, Australia and Japan and the New Security Triangle* (London: Routledge, 2007)
- “The Misonstrued Shift in Japan’s Foreign Policy,” *Japan Echo*, Vol. 33, No. 3 (June 2006)
- 「日本からみた米中関係」『アステイオン』第六三号（二〇〇五年）
- 「一九七〇年代デタントと日本の対応」『国際問題』第五四六号（二〇〇五年九月）
- 「アジア外交―敗戦から東アジア共同体へ」『外交フォーラム』（二〇〇五年八月号）
- 「対中外交の日韓比較―日韓安全保障協力の可能性」大島英樹、文正仁編『日韓国際政治学の新天地―安全保障と国際協力』（慶應義塾大学出版会、二〇〇五年）
- 「東アジア共同体の可能性―日本外交の視点から」国分良成編『世界のなかの東アジア』（慶應義塾大学出版会、二〇〇五年）
- “Changing Security and Political Contexts of Japan-Taiwan Relations: A View from Japan,” *NBR Analysis*, Vol. 16, No. 1 (October 2005)
- “Japanese Security Policy in Transition: The Rise of International and Human Security,” *Asia Pacific Review*, Vol. 12, No. 1 (May 2005)
- 「朝鮮半島をめぐる国際政治と日本外交」『国際問題』第五二八号（二〇〇四年三月）
- 「東アジア安全保障システムのなかの日本」添谷芳秀、田所昌幸編『日本の東アジア構想』（慶應義塾大学出版会、二〇〇四年）
- 「日本外交の二重アイデンティティの解消を」松下政経塾編『松下政経塾・国際政治講座』（PHP研究所、二〇〇四年）
- 「日本のポスト京都戦略―原則外交と現実外交」澤昭裕、関総一郎編著『地球温暖化問題の再検証―ポスト京都議定書の交渉にどう臨むか』（東洋経済新報社、二〇〇四年）

- 「F T A と東アジアの地域秩序—外交安全保障の視点から」『東アジア自由貿易秩序の在り方』（日本機械輸出組合、二〇〇四年）
- 「米中和解から日中国交正常化へ—錯綜する日本像」石井明他共編『記録と考証 日中交正常化・日中平和友好条約締結交渉』（岩波書店、二〇〇三年）
- 「米中関係—同床異夢の戦略的共存」木村汎、朱建榮編『イラク戦争の衝撃—変わる米・欧・中・日関係と日本』（勉誠出版、二〇〇三年）
- “A New Look at the U.S.-China-Japan Triangle: Toward Building a Stable Framework.” *Asian Perspective*, Vol. 27, No. 3 (2003)
- “Japan as a Regional Actor.” *ASEAN-Japan Cooperation: A Foundation for East Asian Community* (Tokyo, New York: Japan Center for International Exchange, 2003)
- “Japan’s Relations with China,” in Ezra F. Vogel, Yuan Ming, and Tanaka Akihiko, eds., *The Golden Age of the U.S.-China-Japan Triangle* (Cambridge: Harvard University Press, 2002)
- “The China Factor in the U.S.-Japan Alliance: The Myth of a China Threat.” *Journal of East Asian Studies*, Vol. 2, No. 2 (August 2002)
- 「日本の自画像—ミズルバワークとじつ」『日韓、主体性発揮の好機』『アジアネットワークリポート二〇〇一』（朝日新聞マシマネットワーク、二〇〇一年三月）
- “Taiwan in Japan’s Security Considerations.” *The China Quarterly*, Vol. 165 (March 2001); also in Richard L. Edmonds and Steven M. Goldstein, eds., *Taiwan in the Twentieth Century: A Retrospective View* (Cambridge: Cambridge University Press, 2001)
- “The Cold War in Asia: The Korean Peninsula as a Strategic Nexus and the Role of Japan.” in Chang-in Moon, et al., eds., *Ending the Cold War in Korea: Theoretical and Historical Perspectives* (Seoul: Yonsei University

- Press, 2001)
- 「座談会 動きだした北東アジア」『外交フォーラム』第一四八号（二〇〇〇年一月）
- 「20世紀の日中関係」『書齋の窓』第四九八号（二〇〇〇年一月）
- 「オーストラリアに学ぶこと—非極戦略の確立へ」『中央公論』一三九六号（二〇〇〇年九月）
- 「ASEAN地域フォーラムと中国」高木誠一郎編『脱冷戦期の中国外交とアジア・太平洋』（日本国際問題研究所、二〇〇〇年）
- 「ASEANと日米中—ASEAN地域フォーラムを中心に」添谷芳秀、山本信人編『世紀末からの東南アジア』（慶應義塾大学出版会、二〇〇〇年）
- 「日本のPKO政策—政治環境の構図」『法学研究』第七三巻第一号（二〇〇〇年一月）
- 「勢力均衡と協調的安全保障—納家政嗣、竹田いさみ編著『新安全保障論の構図』（勁草書房、一九九九年）
- “Europa und Nordostasien: Aus der Sicht Japans,” in Hanns W. Maull, et al., eds., *Europa und Asien-Pazifik* (München: R. Oldenbourg Verlag, 1999)
- “Security Challenges in the Asia-Pacific Region,” in J. Krause, et al., eds., *Asia, Europe and the Challenges to Globalization* (Berlin: German Society for Foreign Affairs, 1999)
- 「トラック2—知的交流を支える国際秩序」『外交フォーラム』No.127（一九九九年三月）
- 「日本のアジア太平洋外交—グローバルリズムと地域主義の交錯」添谷芳秀、赤木完爾編『冷戦後の国際政治—実証、政策、理論』（慶應義塾大学出版会、一九九八年）
- 「戦後日本外交五二年の軌跡」『外交時報』第一三四五号（一九九八年二月）
- 「国際政治のなかの日中関係—国交正常化後二五年の軌跡」『国際問題』第四五四号（一九九八年一月）
- 「対外関係 国際社会における進路の模索—周辺地域からの視点」(シンポジウム 二一世紀をめざす中国—江沢民新体制の課題) 『東亜』第三六七号（一九九八年一月）

- “Japan: Normative Constraints Versus Structural Imperatives.” in Muthiah Alagappa, ed., *Asian Security Practice: Material and Ideational Influences* (Stanford: Stanford University Press, 1998)
- “Japan’s Dual Identity and the U.S.-Japan Alliance” (Asia/Pacific Research Center, Stanford University, May 1998)
- “Europe and Northeast Asia.” in Hanns Maull, Gerald Segal and Jusuf Wanandi, eds., *Europe and the Asia-Pacific* (London: Routledge, 1998)
- 「一九七〇年代の米中関係と日本外交」日本政治学会編『危機の日本外交—七〇年代（年報政治学一九九七）』（岩波書店、一九九七年）
- 「米中関係をみる眼」『世界経済時報』第六〇号（一九九七年一月二〇日）
- 「米国のアジア太平洋政策における ASEAN—冷戦後安全保障への一視角」『国際政治』第一一六号「ASEAN 全体像の検証」（一九九七年一〇月）
- 「日米中関係の構造と日本の外交戦略」『外交フォーラム 臨時増刊 中国』第一〇巻第一〇号（一九九七年九月）
- 「中国と ASEAN の政治・安全保障関係」『日中経協ジャーナル』第四七号（一九九七年八月）
- 「日豪関係—多国間協力の時代がやってくる（シンポジウム）」『外交フォーラム』第一〇巻第八号（一九九七年八月）
- 「アジアの秩序変動と日本外交」『国際問題』第四四四号（一九九七年三月）
- “Vietnam in Japan’s Regional Policy.” in James Morley and Masashi Nishihara, eds., *Vietnam Joins the World* (Armonk, NY: M. E. Sharpe, 1997)
- “The Political and Economic Security Dimension.” in *The Rational and Common Agenda for Asia-Europe Cooperation: CAEC Task Force Reports* (Tokyo & London: Council for Asia-Europe Cooperation, 1997)
- “Northeast Asia Policy of Japan in the 21st Century: Japan’s Dual Identity amid Asia’s Dual Structure of Flux.” in Young-Soon Yim, et al., eds., *Security Environment in the 21st Century and Korea’s Strategic Options* (Seoul: The Korean Association of International Studies, 1997)

- “Japan’s Economic Security,” in Stuart Harris and Andrew Mack, eds., *Asia-Pacific Security: The Economics-Politics Nexus* (St Leonards, Australia: Allen & Unwin, 1997)
- 「日本外交の中のベトナム」西原正、シエームス・モーリー編著『台頭するベトナム―日米はどう関わるか』（中央公論社、一九九六年）
- 「中国とASEAN地域フォーラム」『東亜』第三五三号（一九九六年一月）
- 「米中和解と日米関係」『法学研究』第六九卷第八号（一九九六年八月）
- 「中国大國化の世界史的意味と日本外交」『外交時報』第一三二六号（一九九六年三月）
- “The Japan-U.S. Alliance in a Changing Asia,” *Japan Review of International Affairs*, Vol. 10, No. 4 (Fall 1996)
- “US-Japan Relations and the Opening to China: the 1970s,” The National Security Archive, The U.S.-Japan Program Working Paper No. 5 (1996)
- 「日中関係における東南アジア」増田弘、波多野澄雄編『アジアのなかの日本と中国』（山川出版社、一九九五年）
- “Japan’s Multilateral Diplomacy in the Asia-Pacific and Its Implications for the Korean Peninsula,” *Asian Perspective*, Vol. 19, No. 2 (Fall-Winter 1995)
- “Vietnam in Japan’s Regional Policy,” East-West Center, Working Paper (May 1995)
- “Japan in Asia: Beyond the Balancing Act,” in Hanns W. Maull, ed., *Bowing to the Winds of Change?: New Aspects in Japanese Economic, Foreign and Security Politics* [Arbeitspapiere zur Internationalen Politik 88] (Bonn: Europa Union Verlag, 1994)
- “Jishu Gaiko in Action: Japanese Diplomacy and Vietnam,” The Woodrow Wilson Center, Asia Program, Occasional Paper, Number 64 (June 8, 1994)
- “The Evolution of Japanese Thinking and Policies on Cooperative Security in the 1980s and 1990s,” *Australian Journal of International Affairs*, Vol. 48, No. 1 (May 1994)

- “Japanese Diplomacy and China: The Impact of Historical Legacies.” *Keio Journal of Politics*, No. 7 (1994)
- 『冷戦後』のアジア・太平洋と日本外交」『外交時報』第一二九四号（一九九三年一月）
- “Japan’s Policy towards Southeast Asia: Anatomy of ‘Autonomous Diplomacy’ and the American Factor,” in Chandran Jeshurun, ed., *China, India, Japan and the Security of Southeast Asia* (Singapore: Institute of Southeast Asian Studies, 1993)
- “Japanese Attitudes and Policies toward a Security Framework in the Asia-Pacific,” in Y. Y. Kueh and Brian Bridges, eds., *Asian Pacific Security after the Collapse of the Soviet Union* (Hong Kong: Lingnan College, 1993)
- 「戦後国際政治の変動と日本外交」 岬山道雄編『激動期の国際政治を読み解く本』（学陽書房、一九九二年）
- 「戦後日本外交の構図」『法学研究』第六五卷第二号（一九九二年二月）
- 「カンボジア和平と日本－ASEAN関係」『国際問題』第三八〇号（一九九一年一月）
- 「日米関係と東南アジア」木村昌人、高杉忠明編著『パール・ハーバー五〇年－日本、アメリカ、世界』（東洋経済新報社、一九九一年）
- 「東アジアのマルタ体制」『法学研究』第六四卷第二号（一九九一年二月）
- “Changing Patterns of East Asian Security and Japan,” in Tai Min Chang, ed., *Changing Patterns of East Asian Security* (Hong Kong: Lingnan College, 1991)
- 「カレル・ファン・ウォルフエレン著『日本の権力の謎－国家なき国の人と政治』」『法学研究』第六三卷第五号（一九九〇年五月）【批評と紹介】
- “Japan’s Defense Policy into the 1990s,” in Frank Langdon and Douglas A. Ross, eds., *Superpower Maritime Strategy in the Pacific* (London: Routledge, 1990)
- “Japan-Korea Relations: A Japanese Perspective of Security Aspects,” in Dalchoong Kim, ed., *Peace and Cooperation in Northeast Asia* (Seoul: Yonsei University, 1990)

「LT貿易の成立過程」『外交時報』第一二六三号（一九八九年一一—一二月）

「日中国交正常化と日中貿易」『法学研究』第六二卷第一〇号（一九八九年一〇月）

「書評論文 中国外交の国際的源泉、国内的源泉」『国際学論集』（上智大学国際関係研究所）第一六号（一九八六年一月）

“Innovative China Policy of the United States: the Truman and Nixon Administrations,” *Journal of International Studies* (Sophia University), No. 10 (January 1983)